

シニアネット構築研究会

本事業は、平成２２年度自転車等機械工業補振興助事業により実施した事業です。

１．事業概要及び目的

シニアがパソコン等情報化ツールを駆使して集い、地域で様々な社会参加活動等幅広い活動を展開しているシニアネットは、メロウ・ソサエティ構想の掲げる「高齢者参加型情報化社会」を実現する原動力になっている。企業・行政との協働も活発化し、シニアの生き甲斐創出とあいまって地域社会の活性化に重要な役割を果たしてきている。かかるシニアネットが全国津々浦々に存在することが、シニアの自立と社会参加をより一層促進し、地域の活性化・産業の活性化・地域起こしにつながる極めて重要なことである。そこで、全国のシニアネット団体が一堂に会したシニアネット構築・活性化を促す研究会「シニアネット・フォーラム 21」を実施する。

平成２２年度は東京で開催した。

２．事業の実施内容

シニアネット構築研究会として平成２２年度は平成２３年２月に東京で「シニアネット・フォーラム 21 in 東京 2011」を開催した。シニア層や自治体・企業の関係者等が一堂に会しシニアネットの社会的意義や具体的な活動研究等熱い議論と深い交流を行う中、シニアの自立・と社会参加を促し、地域振興につなげるべくシニアネットの普及・拡大を図った。いずれも定員を大きく上回る参加者を得、盛況裡に終えることが出来た。

基調講演・パネルディスカッション・ワークショップ・交流広場といった、示唆に富んだ講演や熱心な議論、刺激的な活動成果展等により今後の展開に極めて有意義なものとする事が出来た。アンケート結果では参加者の意識変革も見られ、今後の普及拡大、更なる飛躍が期待できる。なお、実施にあたっては下記のような手順にて行った。

- 1) 公募によりシニアネット構築研究会の実施者を募集する。
- 2) 協会の担当者が書類審査実施後、技術顧問を中心とした各グループ長の合議により、事業者を選定する。
- 3) 当協会三と当該団体及び全国のシニアネット、NPO、自治体、関連企業等と協力して事業を実施する。同研究会は全国大会として、全国の関連団体と協力関係を構築することにより、効率的に研修等が実施できる。

■実施例(シニアネット・フォーラム21in 東京 2011)

- ・日時:平成22年2月17日 10時30分～16時30分
平成22年2月18日 10時00分～16時15分
- ・場所:日本青年館(東京都新宿区)
- ・主催:財団法人ニューメディア開発協会
- ・後援:経済産業省
テーマ:「シニアネット・さらなる飛躍を目指して」
- ・基調講演Ⅰ:秋山弘子氏(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)
「シニアの更なる飛躍を期待する」
- ・基調講演Ⅱ:加治左俊一(マイクロソフト日本代表取締役社長)
「テクノロジーの進化と新たな展開」
- ・特別講演:吉田敦也氏(徳島大学大学院教授)
「シニアネットの2010年代の飛躍に向けて」
- ・パネル・ディスカッション:テーマ
「シニアのパワーアップとシニアネットの更なる飛躍」
コーディネーター:吉田敦也氏(徳島大学大学院教授)
パネリスト:計5人(シニアネット5団体代表)
- ・ワークショップ:5分科会に分かれ、魅力あるシニアネットの姿、コミュニティビジネス、地域情報化促進、行政との協働(コラボレーション)、組織・運営論について社会参加等シニアネットの今後の姿・方向性を議論し、更なる飛躍を図った。
- ・シニアネット交流広場:全国のシニアネット等20団体が日頃の活動成果を展示。フォーラム参加者との間で緊密な意見交換と深い相互交流がなされた。

3. 本事業実施による成果

期間中、定員を上回る多くの参加者を得、和やかな雰囲気の中にも熱のこもった議論が展開され、終了後のアンケート調査等で「シニアネットの地域活動の重要性があらためて認識できた」、「皆様の活動が参考になりました。シニアを生かす参考になった」、「シニアネットのネットワークを地域活性化に活かす方法を考えたい」のように大変前向きな姿勢を示したシニアが多く見られた。シニアネット活動等を通して、地域のために貢献したいとするシニアのライフスタイルや意識に変革をもたらすことができたものと思われ、所期の目的を達成することができた。また、シニアにとってシニアネットは「生きがい」、「生活の一部」、「自分を元気づける存在」といった意見が多く寄せられ、シニアネットがシニアの日常生活に相当深く浸透してきているこ

とが伺われ、継続的に行ってきた「シニアネット構築研究会」の大きな成果である。

4. 本事業の成果の活用状況等

本事業は、当協会の事業の柱である資格制度「シニア情報生活アドバイザー養成事業」とともにメロウ・ソサエティ構想を推進する主要事業であり、「シニア情報生活アドバイザー養成事業」と密接な関係がある。

シニアネットには、その共通的なミッションとして「地域のシニア等への IT 講習」がある。IT 講習には然るべき講師が必要であり、そこにシニア情報生活アドバイザーを当てはめるという構図である。両者はまさに車の両輪の関係にある。IT 講習に熱心なシニアネットは講師養成にシニア情報生活アドバイザー資格取得を採用しているところがある。シニア情報生活アドバイザーの活動の場としてシニアネットは必要不可欠な場となっている。

シニアネットの普及・拡大はシニア情報生活アドバイザーの普及・拡大・活性化に繋がるものとして、本事業の成果を大いに活用しているものである。